

1. 科目名 (単位数)	心理学入門 (2 単位)	3. 科目番号	GEBS1110 GELA1310
2. 授業担当教員	三浦 亜紀		
4. 授業形態	講義・演習(ディスカッションを含む)	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	心理学系科目の中で最初に履修することが望ましい。		
7. 講義概要	心理学は、人の行動や感情を科学的に研究することを通して、人間を理解しようとする学問である。本科目では、心理学という学問の入門的な学習として、心理学への興味を高めるために、歴史や特徴を背景とした心理学的思考法を体験的に学習する。また、心理学の主要な分野における最も基礎的な概念と理論に幅広くふれながら、理解する。		
8. 学習目標	1. 心理学への興味を高め、後の心理学系専門科目の学習につなげることができる。 2. 心理学が生まれてきた歴史を概観し、説明することができる。 3. 心理学的な思考方法を身につけ、心理学系専門科目を学ぶための基礎を身につける。 4. 世間一般の心理学のイメージと、学問としての心理学との違いを理解し、説明することができる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	教科書の該当箇所を事前に通読し、専門用語の定義を把握しておくこと。 小テストと期末課題については、適宜提示する。		
10. 教科書・参考書・教材	教科書：武田明典編著『自己理解の心理学』北樹出版		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1.心理学への興味を高め、後の心理学系専門科目の学習につなげることができたか。 2.心理学が生まれてきた歴史を概観し説明することができたか。 3.心理学的な思考方法を身につけ心理学系専門科目を学ぶための基礎が身についたか。 4.世間一般の心理学のイメージと学問としての心理学との違いを理解し説明することができたか。 ○評定の方法 学則で定められた単位取得の条件(3/4 以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度(授業におけるグループ発表等への積極的参加、授業のまとめ等のアサインメント)50%、試験(小テスト等を含む)50%として算出した合計得点により成績評価を行う。		
12. 受講生へのメッセージ	心理学は、目に見えない心や感情を科学的な手続きによって解き明かそうとする学問です。本科目は、心理学の基礎的理論を学び、専門的領域へと進むための大切な土台となります。自分や他者を理解するために心理学の基礎を習得し、他者への共感や理解につながることを養ってください。		
13. オフィスアワー	初回授業で通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 心理学ってなに？	事前学習	教科書の該当箇所を予習しておくこと
		事後学習	授業内容を復習すること
第2回	心理学史 心理学の歴史を知ろう	事前学習	教科書の該当箇所を予習しておくこと
		事後学習	授業内容を復習すること
第3回	パーソナリティの心理学	事前学習	教科書の該当箇所を予習しておくこと
		事後学習	授業内容を復習すること
第4回	パーソナリティのアセスメント	事前学習	教科書の該当箇所を予習しておくこと
		事後学習	授業内容を復習すること
第5回	乳幼児期の心理学	事前学習	教科書の該当箇所を予習しておくこと
		事後学習	授業内容を復習すること
第6回	児童期以降の心理学	事前学習	教科書の該当箇所を予習しておくこと
		事後学習	授業内容を復習すること
第7回	認知心理学	事前学習	教科書の該当箇所を予習しておくこと
		事後学習	授業内容を復習すること
第8回	学習のふりかえり①	事前学習	教科書の該当箇所を予習しておくこと
		事後学習	授業内容を復習すること
第9回	学習心理学	事前学習	教科書の該当箇所を予習しておくこと
		事後学習	授業内容を復習すること
第10回	モチベーションの心理学	事前学習	教科書の該当箇所を予習しておくこと
		事後学習	授業内容を復習すること
第11回	知能について	事前学習	教科書の該当箇所を予習しておくこと
		事後学習	授業内容を復習すること
第12回	対人コミュニケーションの心理学	事前学習	教科書の該当箇所を予習しておくこと
		事後学習	授業内容を復習すること
第13回	自己肯定感の心理学	事前学習	教科書の該当箇所を予習しておくこと
		事後学習	授業内容を復習すること
第14回	キャリアと心理学	事前学習	教科書の該当箇所を予習しておくこと
		事後学習	授業内容を復習すること
第15回	学習の振り返り②	事前学習	教科書の該当箇所を予習しておくこと
		事後学習	授業内容を復習すること

